

【プレスリリース】
報道機関関係者各位

2023年11月8日
一般社団法人全国フードバンク推進協議会

～物価高騰の中、子どもがいる困窮世帯への支援を過去最大に～
冬休み期間中の全国的な食料支援プロジェクトを実施します

国内フードバンク団体の全国的なネットワーク組織である一般社団法人全国フードバンク推進協議会※1（所在地：東京都豊島区、代表理事：米山廣明）は加盟フードバンク団体と協力し、12月から1月の給食のない冬休み期間中に、子どもがいる困窮世帯に集中的な食料支援を行うため、「第6回フードバンク子ども応援全国プロジェクト」を実施します。本プロジェクトでは物価高騰などの影響による生活困窮世帯の増加や社会的な孤独・孤立の深刻化に対応するために実施し、過去最大の40,000世帯へ食料支援を届けることを目標としています。



昨今の物価高騰による食品や光熱費の値上げが、生活困窮世帯にとって一層負担となっています。さらに、学校が夏休みや冬休みなど長期休みに入ると、給食がなくなり、また子どもが家にいる時間が増えます。日々の食事の確保を主に学校給食に頼っている場合や、家にいる時間が長くなると食費や光熱費が増加します。結果として、家計が圧迫されることで、子どもがいる困窮世帯の状況はますます深刻化しています。

■フードバンク子ども応援全国プロジェクトとは

「フードバンク子ども応援全国プロジェクト」とは、全国フードバンク推進協議会と加盟フードバンクが協力して行うプロジェクトです。本プロジェクトでは、これまで把握できていなかった、子どもがいる困窮世帯の早期発見と早期支援、そして全国的な食料支援活動の拡大を目的としており、各地のフードバンク団体が行政や社会福祉協議会、小中学校などの教育機関と協力し、給食のない夏休みや冬休み期間中に集中的な食料支援活動に取り組んでいます。



名 称：第6回フードバンク子ども応援全国プロジェクト

支 援 目 標：全国で40,000世帯への食料支援

実 施 期 間：2023年12月1日～2024年1月31日

活 動 内 容：給食のない冬休み期間中に子どものいる困窮世帯に対して集中的な食料支援を行う

■過去に実施した同プロジェクトの支援世帯数

第1回目：延べ14,011世帯

第2回目：延べ10,659世帯

第3回目：延べ17,675世帯

第4回目：延べ28,565世帯

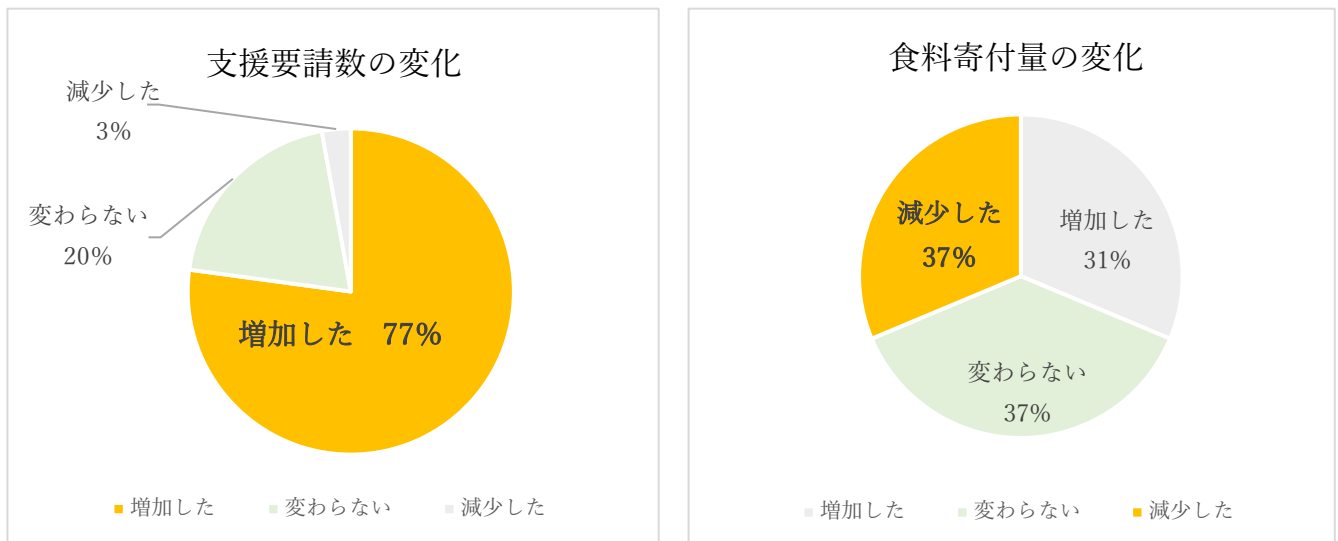
第5回目：延べ38,549世帯

■フードバンク団体の現状

「第5回フードバンク子ども応援全国プロジェクト」終了後に行った加盟団体へのアンケート調査から、以下のようなフードバンク団体の厳しい現状が明らかになりました。

プロジェクト終了後のアンケートに回答した団体のうち、77%の団体が「食料支援の要請件数が増加した」と回答しました。その反面、37%の団体が「食料寄付量が減少した」と回答しています。

調査時期：2023年9月、調査対象団体数：58団体（弊会加盟団体）、回答団体数：35団体



出所：プロジェクト終了時のアンケート調査を基に弊会作成

また、同調査において、食料支援の要請件数が「増加した」と回答した団体からは、その要因として次のような回答がありました。

- 「これまで家計を切り詰めながら生活していた世帯が、物価高により給料の支給までもたないなどの理由により依頼が増加した」
- 「物価高騰による実質賃金の低下が大きい」
- 「電気代等が高くなり食費に回る余裕がないとの声が多かった」

■公的支援によるフードバンク団体の基盤強化の必要性

【日米のフードバンクの比較】

	日本	アメリカ※2	日米比
フードバンクの団体数	252 団体	1,304 団体	5.1 倍
フードバンクの年間取扱量	約 8,000 トン	7,390,000 トン	923 倍
フードバンク 1 団体あたりの平均取扱量	約 34 トン	約 5,700 トン	170 倍

※2 出所：消費者庁 諸外国における食品の寄附の実態等に関する調査

上記のアンケート調査から明らかになった通り、物価高騰の中で社会的ニーズが増加し続ける一方で、フードバンク団体に集まる食品は一部の団体で減少しています。

一方、アメリカのフードバンクの年間食品取扱量は 739 万トンで、これは国内の食品ロス発生量 (523 万トン) より多く、国内フードバンクの取扱量の 900 倍以上に相当します。このように、アメリカではフードバンクが膨大な量の食品ロス削減と、経済的な困難を抱える世帯への食料供給に大きく貢献しています。

国内フードバンクは組織基盤 (マンパワーを含む食品の保管・運搬・配布能力) が脆弱であるため取扱量が少なく、支援を必要とする世帯に十分な食品を提供することが難しい現状があります。このような課題を根本的に解決するためには、海外のように公的支援による組織基盤の強化が必要不可欠であると全国フードバンク推進協議会では考えています。

■ご支援のお願い

全国フードバンク推進協議会では、12 月から 1 月にかけてプロジェクトに向けてより多くの皆様からのご支援をお願いしています。

寄付のお願い

< 銀行からのお振り込み >

- ・ 三井住友銀行 小金井支店
- ・ 普通 4038519
- ・ 口座名義：一般社団法人全国フードバンク推進協議会 一般口

その他クレジットカードでの決済や継続寄付 (マンスリーサポーター) も承っております。お申し込みは弊会ホームページよりお願いいたします。

弊会HPは
こちらから→



< 郵便局からのお振り込み >

- ・ ゆうちょ銀行
- ・ 記号：10820 番号：16540841
- ・ 口座名義：全国フードバンク推進協議会

寄付に関するご相談は、メールまたはお電話にて承っております。

メール：info@fb-kyougikai.net
電話：03-6912-9444

食品寄贈のお願い

<企業によるご寄贈>

弊会では企業による食品のご寄贈を承っております。大変恐縮ではございますが、以下の**必須条件**をすべて満たす場合のみご寄贈をお願いします。

<条件>

- 2ヶ月以上賞味期限が残っていること
- アルコール類ではないこと
- 製品寄贈に係る配送費をご負担いただけること
- 寄贈製品をご発送いただく際、各フードバンク団体が希望する日時に合わせてご発送いただくこと（各フードバンク団体によって、受け取り可能な日時が異なるため）

食品寄贈に関する
お問い合わせは
こちらから→



連絡先：03-6912-9444

<個人によるご寄贈>

弊会では**個人による食品のご寄贈を承っておりません**ので、寄贈される場合はお近くのフードバンク団体様へお持ちいただくようお願いいたします。
※寄贈可能な食品の条件については、各フードバンク団体様のホームページをご参照ください。

子どものいる困窮世帯により多くの支援が届くよう、皆様のご協力よろしく申し上げます。

※1 <団体概要>

団体名称：一般社団法人全国フードバンク推進協議会

本社所在地：〒171-0014 東京都豊島区池袋2丁目61-4エヌアイビル3F

代表理事：米山廣明

設立：2015年11月13日

URL：<https://www.fb-kyougikai.net/>

活動内容：政策提言活動、広報活動、フードバンク団体へのノウハウ支援、食品寄贈の仲介

ミッション：明日の食事に困る人のいない社会をつくる

担当者：米山（080-6895-5796）